

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立栗原小学校)

- ① 教科等 社会科 ② 学年 第3学年
- ③ 単元名 「店ではたく人」
- ④ 本時の目標 行商は、消費者の思いや願いに合わせて販売方法を工夫していることについて、適切に表現することができる。
- ⑤ 学習の流れ (13時間目/全14時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時までの学習を想起する。 2 行商について知る。 ○スーパーマーケットと比較する。 3 学習課題を確認する。	◇既習事項の掲示を参考に想起させる。 ◇地元の尾道市内で見られる行商という販売形態について説明する。 ◇写真を見て、考えさせる。 ◇スーパーマーケットの売り方の工夫が行商にあてはまらないことをおさえる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> スーパーマーケットのような工夫はないのに、なぜ、行商の魚はよく売れるのだろう。 </div>		
4 予想する。	◇今日の学習に対する見通しをもたせる。 ◇スーパーマーケットでの学習で得た知識から予想させる。	
5 行商の様子を VTR で見る。 6 メモをもとに全体で交流し、まとめる。	◇地元の尾道市内の魚の行商の様子をまとめた VTR を視聴させる。(5分) ◇売り方の工夫の視点で視聴させ、メモをとらせる。 ◆視聴後にペアトークを取り入れ、メモしたことを交流させ、全員に考えをもたせる。 ◇VTRを根拠に、売り方の工夫について、全体で意見交流をさせる。 (予想される児童の発言) ・「一人一人の希望を聞いて切っていた。家族の人数にあわせて切っていた。」 ・「おススメの魚を教えてくれた。」 ・「会話をしながらとても楽しそうだった。」 ・「その場で切るのを見ることができるので安心。」 ・「調理の仕方を説明していた。」 ・「調理の悩みに答えていた。」 ・「お客さんの名前を知っていた。」 など	・販売の仕事には、店の形態や規模に応じた工夫があることを自分たちの生活と関連付けて考え、表現している。 〔社会的な思考・判断・表現〕(発言・ワークシート)
7 まとめと振り返りを行う。 ○今日の学習を振り返り、学習課題に対するまとめを考える。	◇今日の学習を振り返らせ、まとめを書かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【まとめ】 行商の人は、お客さんの言うとおりに新鮮な魚をさばいたり、調理の悩みに答えてくれたりして、また来てもらえるような売り方をしているから。 </div>	
8 次時の学習内容を確認する。	◇これまでのスーパーマーケットや行商の学習を振り返り、売る側の工夫と買う側の願いとの関係を考えることを伝える。	

設定した言語活動を通して育てたい力

- スーパーマーケットの学習で習得した販売の工夫を活用して、行商の販売の工夫について考え、資料(VTR)と関連付けて説明することができる。

言語活動の充実のための工夫

- VTRを見せ、売り方の工夫について気付いたことをメモさせる。
- スーパーマーケットの売り方と比較させる発問を工夫し、思考を深めさせる。